

教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 265

2006年 5・6月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111



↑ 3/21 豊川海軍工廠跡（現、
名古屋大学太陽地球環境研究
所内）の土塁外にて

→ 4/29 東谷山フルーツ
パーク散策路入口にて



名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

主張〈総代会(5/26)にあなたのご意見を〉	-----3
【企画案内】	
夏の組合員交流企画	
ハリリー・ポッターと炎のゴブレット上映会	-----4
ビアガーデン	-----5
名大祭「ミニ平和資料館」に集まれ!	-----18
【報告】	
教職員委員会合宿の報告	-----6
ハイキングにBBQに温泉に大満足	-----7
平和ミニツアー第1弾!	
「豊川海軍工廠爆撃と跡地調査(3/21)報告」	-----8
【記事】	
魔言「会計士・建築士・代議士」「言葉に出してい言わなければならない」世界「改革してむしろよくなった」	-----12
新フィールドノート-その94-	
「古津」	-----14
ニュースに一喝!	
「男女共同参画社会」「はい」「言葉はきちんと」	-----16
アンケート・クイズ解答用紙	-----20
かけはしの輪	-----21
CO-OP QUIZ < Logic >	-----裏表紙

公 示

定款第53条に基づき第78回通常総代会を下記のように開催します。

記

日時：2006年5月26日(金)午後5時～午後8時30分

場所：南部食堂ホール

議題

- 【第1号議案】2005年度活動報告・2005年度活動方針決定の件
- 【第2号議案】2005年度決算報告・剰余金処分案並びに監査報告承認と
2006年度予算並びに借入金最高限度額・役員報酬決定の件
- 【第3号議案】役員選挙の件
- 【第4号議案】議案議決効力の発生の件

名古屋大学消費生活協同組合

理事長 福家俊朗

主張

陽光眩しい春、名古屋大学は2200人余の新入生を迎え、キャンパスに活気ある季節を迎えました。教職員の皆さまにおかれましても、新年度にあたって様々な抱負を抱いておられることと思います。

名大生協も、新たな発展をめざして抱負を語り合う第78回通常総代会を、5月26日に開きます(詳細は2ページの告示を参照してください)。

年に一回開く通常総代会では、一年間の活動の振り返りや決算の確認と、新しい一年の目標や計画、予算などを議題にします。名大生協では、議案書ダイジェスト―2005年度の振り返りと事業活動の概要をまとめたカラー刷り8ページの冊子を配布していますのでぜひご覧ください。

法人化3年目を迎えた名古屋大学は、国からの運営交付金や

人件費の削減にたいし、いつもの経費削減や大手コンビニの導入など新たな動きも現れています。こうした動きの中で名大生協は、3つのビジョン、5つのアクションプランに沿って活動してきました。5月23日には、理系地区に待望の「ブックス・フロンテ」「カフェ・フロンテ」がオープンします。この建物の建築にあたって生協は、組合員

がスムーズに大学生活のスタートがきれるように、きめ細かな新入生歓迎活動を献身的にすすめました。教職員委員会は、機関誌「かけはし」の発行、ハイキング、産地・工場見学、音としゃべりの金曜サロンなどの活動を通じて教職員組合員の交流をすすめてきました。院生委員会、留学生委員会もそれぞれ、固有の要求にもとづく活動をす

献はどうあるべきでしょう。5月の総代会に、あなたの名大生協へのご意見・要望を寄せてください。その方法は、(1)総代になり総代会で直接発言する、(2)総代会に傍聴者として参加する(認められれば発言もできます)、(3)事前説明会に参加する、(4)メールで意見を出す(URL: <http://www.nucoop.jp/>) からどうぞ)などがあります。どんなことでも歓迎します。

総代会(5/26)に

あなたのご意見を

の利用によって蓄えてきた「施設改善開設準備金」から大学に約一億円を寄付しました。

名大生協は、大学の福利厚生を担う事業活動での貢献とともに、さまざまな階層のさまざまな自主的な活動を支援して大学の活性化と構成員の文化交流に協力しています。学生委員会をはじめとする上級生は、新入生

すめてきました。また、外国コミュニケーションサークル(外国語学習サークル)、震災ガールズダイアーズ(災害ボランティア)などの学生の自主的活動を支援しています。

現在の社会にふさわしい名大生協の活動はどうあるべきでしょう。「勇気ある知識人を育て」る名古屋大学への生協の貢

2010年に向けた「名古屋大学生協の3つのビジョン(使命)」
【第一の使命】私達は安心・安全かつ信頼される商品やサービスの提供を通じて、組合員一人一人の健康的で豊かなキャンパスライフを支えます。

【第二の使命】私達は勉学・教育・研究生活をサポートし、学び・体験の共生空間を広げます。

【第三の使命】私達は名古屋大学における研究・教育の発展を願い、協同組合の活動を通じて人間性と科学の調和的發展に貢献します。

夏の組合員交流企画パート 1

映画 (DVD) 上映会
入場無料

作品 ハリー・ポッター と炎のゴブレット

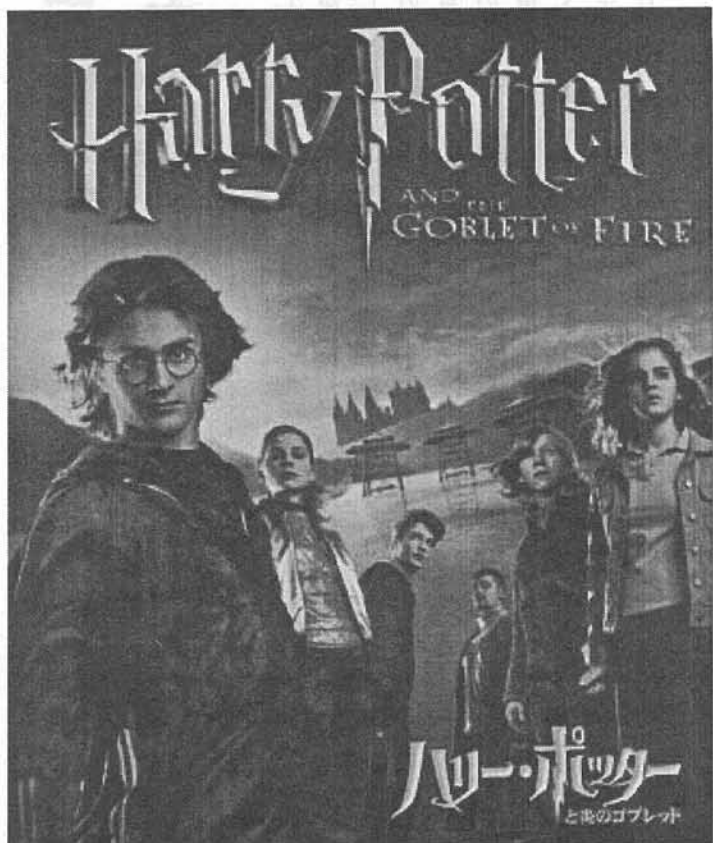
(157分)

日時 6月21日 (水) 17:30 ~

場所 北部 2F ゆ〜どん

大ヒット・ファンタジー・シリーズの第4作品目。魔法の力を競い合う伝説の「三大魔法学校対抗試合」がホグワーツ校で開催されることになった。17歳以上という資格にもかかわらず、14歳のハリーも4人目の選手として告げられ、参加することになる。

シリーズ初のイギリス人監督マイク・ニューウェルがメガフォンをとり、体長9mのドラゴンや、水中での大脱出など想像を超えるリアル感とスケールで映像化された。ハリーの初恋、ロンとの確執、嫉妬されるハーマイオニーなど、ドラマ部分をしっかりと描きながら、「友情」というテーマをくっきりと浮かび上がらせている。ついに現れるヴォルデモートの姿もシリーズファンには楽しみである。



夏の組合員交流企画パート2

ビアガーデン

いつ：6月22日(木) 17:30~20:30

どこで：北部厚生会館2F

「ゆ~どん」



前売り500円チケットをかうとお得(約29%off)

前売りチケットは、生ビール中ジョッキ1杯とおつまみ2品付きで、
お一人一枚一回限りです。あとは下の割引券をご利用下さい。

お品書き：生ビール	400円
名大学章入り地ビール	400円
おつまみ(1品)	150円
(枝豆、焼きそば、串カツ、焼き鳥、肉じゃが)	

前売りチケットの申し込みはkyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jpまで

企画：名大生協教職員委員会

夏の組合員交流企画

ビアガーデン

割引券(全品10%Off)

合計金額の10%を端数10円単位で割り引きます
いつ：6月22日(木) 17:30~20:00ころ

どこで：北部厚生会館2F「ゆ~どん」

めにゆー：生ビール 400円
名大学章入り地ビール 400円
(お持ち帰りは対象外です)
おつまみ(1品) 150円

(枝豆、焼きそば、串カツ、焼き鳥、肉じゃが)
企画は名大生協教職員委員会

夏の組合員交流企画

ビアガーデン

割引券(全品10%Off)

合計金額の10%を端数10円単位で割り引きます
いつ：6月22日(木) 17:30~20:00ころ

どこで：北部厚生会館2F「ゆ~どん」

めにゆー：生ビール 400円
名大学章入り地ビール 400円
(お持ち帰りは対象外です)
おつまみ(1品) 150円

(枝豆、焼きそば、串カツ、焼き鳥、肉じゃが)
企画は名大生協教職員委員会

教職員委員会合宿の報告

去る、3月4日(土)から5日(日)にかけて、名大生協の教職員委員会は南知多内海旅館「はしもと」で2006年度方針合宿を開催しました。

午前8時30分に大学に集合し、四谷から都市高速に入り南知多道路を通り10時過ぎに内海に到着。翌日の午後1時まで、名古屋大学にコンビニが不出店してきたときの対応や教職員の中での生協運動についても含め委員会方針を活発に議論しました。今回も星野副理事長に参加いただき教員の視点での助言を頂き心強いかがりでした。

生協は、私達組合員が出資し、お店を利用し、自ら運営していく組織です。組合員の皆さんからの改善要望を実現し、利用しやすいお店作りをすすめていくのが組織委員会の役割です。食堂、購買、書籍、旅行・サービセンター、共済・保険の各事業活動のいづれかに興味をお持ちの方がみえましたら、一緒に参加してみませんか。

また、教職員組織の場合、組合員の文化的向上を目指して、文化、レクリエーション行事

も重視して取り組んでいますので、この分野で協力していただける方も歓迎します。この記事を読まれて興味を持たれた方は、是非、一度生協の理事会室(北部生協2階)を尋ねてください。

教職員委員会の

2006年度活動方針

組織活動

○加入推進活動

新しく名古屋大学に赴任された教職員に対して、生協の利用の手引き、加入の案内などをDMで送り加入を呼びかけます。6月末までに新しく組合員になられた方には新天地で必ず必要となる名刺作成補助券(2000円割引)と食堂利用プリペイドカードを進呈するキャンペーンを実施しています。是非この機会に加入されることをおすすめします。

○総代の選出

5月26日の総代会に向けて各職域を中心に総代の選出を進めます。

○総代会議

総代会終了後や秋の委員会企

画の前に総代さんを中心に総代会の報告や委員会活動の紹介をおこない総代さんと一緒に企画を進めます。

○利用者懇談会

春は総代会の議案書説明会として各建物毎で開催できるように準備します。組合員のみならずの周りで開催希望がありましたらご連絡下さい。

機関紙活動

かけはしを奇数月に発行し、研究科長インタビューを継続して掲載します。生協からの情報と組合員の交流・情報誌となるよう努めます。また、読者参加の懇談会も開催します。

コープカルチャーセンター企画

○東谷山ハイキング(4月29日)
○音としゃべりの金曜サロン(11月24日か12月1日) 地元のコジャズミュージシャンによるコンサートを企画します。

○歌声喫茶(未定)

○文化講演会(検討課題)

平和・環境活動

○平和憲章制定20周年に向けポスターを作成し平和への気運を全学的に盛り上げます。

○平和ミニツアーを名古屋大学平和憲章委員会と共催の形で実

施します。(1)豊川海軍工廠爆撃と跡地調査(3月21日)、(2)立命館大学平和ミュージアムの見学ツアー(開催日未定)

○平和憲章エッセイ募集を学生・院生の組合員に呼びかけます。(4月1日〜6月末日)

○名大祭で、ミニ平和資料館を開催します。(6月3・4日)

○日中不再戦の誓いと瑞浪化石博物館見学を実施します。(9月17日)

組合員交流企画

○夏のピアガーデンと映画上映会(6月)、冬の赤ちようちんと映画上映会(11月)を実施します。

工場・産地見学

○COOP商品や生協食堂の食材工場を見学します。(開催日未定)

○COOPりんご産地見学(11月中旬予定)

東海地域・全国との連帯活動

○全国の大学生協教職員委員会との交流をすすめます。(10月東大生協にて開催予定)

○東海地域センター教職員活動セミナー(7月29・30日)

と多彩な企画を開催しますので、ご期待下さい。

ハイキングにBB

Qに温泉に大満足

4月29日(土)9時、名古屋大学博物館前にて集合、車で東谷山フルーツパークに向かう。途中高蔵寺から参加の2人を東谷橋付近で拾って6人の参加者となる。数日前は雨予想だったので心配されたが薄曇りであるが快方に向かっているののでうにか一日持ちそうである。

フルーツパーク第1駐車場に10時過ぎに到着。しだけ桜がまだかろうじて咲いているといったところである。準備をして、記念写真を撮り10時25分から東谷山散策路を山頂に向け出発。



山頂展望台から濃尾平野を望む

散策路はすぐ鬱蒼とした森の中となり名古屋市内であることを忘れてしまうほど自然豊かな森である。散策路はほとんど階段で整備されていて歩きやすいが、強制的に太ももを上げさせられるので、長く続くとしんどくなる。10分も行くと5世紀頃の南社古墳に出会う。このあたり上志段味地区は白鳥塚古墳が散在しているらしい。もう少し登ったところにも中社の古墳がある。こちらは4世紀後半のようだ。全長750mの散策路をゆつくり上って11時に頂上の展望台に到着した。

展望台からは北に高蔵寺ニュータウン、西に濃尾平野が広がり春霞ではあったが名駅の3本ののっぽビルと伊吹山が見渡せた。山の反対側からは猿投山などが見られそこには1年間の12節氣と太陽の昇る時刻と位置が示されたプレートが置いてあり興味深かった。昼はパーベキューを山頂で行い、ビールもお肉も焼きそばも美味しかった。下りもおしゃべりに花が咲きゆつくりと下山した。フルーツパークを少し見学し昨日オープンしたばかりのパーデンパークSOGI(土岐市曾

木温泉)まで足を伸ばして温泉に浸かってきた。お湯はすべすべで、オープンしたての浴槽は木の香りがしてとても気持ちよかった。

名大に着いたのは6時を回ってしまったが、とても有意義な一日を過ごすことができた。

参加者の感想 充実した一日

○ハイキングに参加させていただき充実な一日を過ごしました。散策路は整備されていて距離も困難さもちょうどよかったですし、気軽なハイキングにはいいところでした。パーベキューは美味しかったです。量も多くていっぱい食べました。温泉はきれいなところでした。お湯はくつろぎコーナーはちよつと狭かったが、露天風呂にも入れるとは思いませんでした。ツアーの人数は多くないが、スケジュールは急いでなくてゆつくり大自然と接することができ、とても楽しくて満喫しました。有難うございました。

(rainhard)



焼きそばも美味しかった

ゆつたりとして最高!!

○ハイキングの時、同行の皆さんに日本の古墳や山の植物などを説明していただき、本当に有難いです。パーベキューも大変良かったです。温泉は新しく建てられたみたいなので、雰囲気がとても良かったです。また、ハイキングをした後、温泉に入り、すごく気持ち良かったです。午前中ハイキング、昼は山の頂上でパーベキュー、そしてフルーツパークでの散策、最後に温泉というようゆつたりとしたスケジュールは最高です!!

(ユーチン)

平和ミニツアー第1弾!

豊川海軍工廠爆撃と跡地

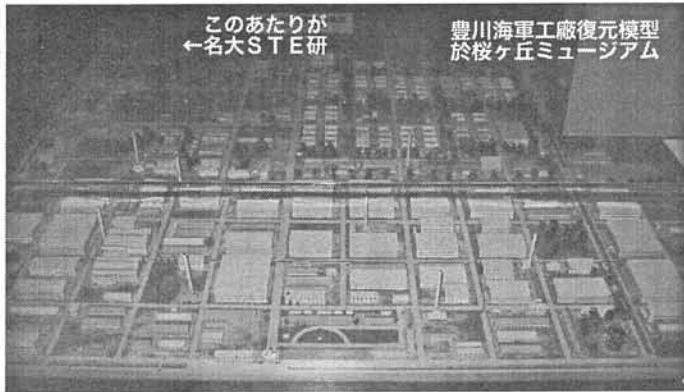
調査(3/21) 報告

21日朝9時半名古屋大学を出発
21日は天候にも恵まれ、絶好の行楽日和となりました。

朝9時、名大に14名集合し、2台の車に分乗して豊川まで高速道路で移動。豊川の桜ヶ丘ミュージアムには予定の11時に到着。ミュージアムのは裏手の地域文化広場には岐阜県根尾村の淡墨桜の苗木をもらい受け植樹された薄墨桜が立派に成長し、満開となっていました。

桜ヶ丘ミュージアムには東三河で新婦人などを中心に平和活動を展開されている岩瀬祥代さんら3名と一緒に見学したいと待つておられました。岩瀬さんは今回の見学会で案内をしていただいた「保存を進める会」の伊藤さんと山田さんを紹介していただきました。岩瀬さんはわざわざ豊川海軍工廠の惨劇をま

とめた2冊の本を持参されました。貴重な資料なので、しばらく貸していただくことにしました。このほかにも、お土産もいただきました。



このあたりが
←名大STE研

豊川海軍工廠復元模型
於桜ヶ丘ミュージアム

桜ヶ丘ミュージアム見学

ミュージアム見学に先立って、岩瀬さんから当時のお話を聞くことが出来ました。

岩瀬さんのお母さんが海軍工廠に招聘されておられ、たまたま休憩に戻ったわずかな時間に激しい爆撃があり2700名余の命が失われたとのこと。「歴史の歯車がほんのわずかでも違っていたら私はこの世に存在しない・・・」との言葉は深く胸におちました。

桜ヶ丘ミュージアムは常設の展示スペースが限られていることもあり、海軍工廠に関する展示は一部屋にまとめられています。規模の大きさや、空襲被害の概要をつかむことが出来ます。市民からの遺品の寄付などもあり、3000点以上をミュージアムとして収蔵しているとのこと。これらの収蔵品やパネルなどは申し出れば貸していただけるそうです。



伊藤(保存をすすめる会)さんの話を聞く参加者。STE研正門にて

思いがけず花見がてらのお弁当
桜ヶ丘ミュージアム見学のあと、お昼ごはんは近くのコンビニでお弁当を買い、ミュージアム横の公園の満開となった桜をめでながら花見弁当となりました。これは思いがけない幸運でした。暖かい日和のなかで桜の香りに包まれたとても穏やかな時間となりました。

STE研究所正門に集合

午後1時に名古屋大学太陽地球環境(STE)研究所の正門

で待ち合わせた。「豊川海軍工廠の」保存をすすめる会」の皆さんと合流しました。STE研究所の鳥山さんが入構と見学の事務手続きの準備をしていたのだおかげで、守衛さんからは写真集も預かりました。

「保存をすすめる会」からは伊藤さんをはじめ4名の方々にきていただき、一緒に見学することになりました。このとき、現地集合の松岡さんも到着され、総勢22名という盛況となりました。

最初に、豊川海軍工廠の概要と爆撃の模様について話を聞き、順に遺構を見て回ることにになりました。豊川海軍工廠は非常に広く、STE研究所はほんの一部分にすぎません。そしてこれから見学するところが海軍工廠の比較的是ずれで多数の犠牲者が出た海軍工廠入り口からは相当離れており、比較的被害が少なかつた弾薬貯蔵庫を中心とした遺構であることも判りました。

配電盤と街路灯、側溝

豊川海軍工廠は戦時中の建物

としては非常にしつかりしたもので、電気配線は全て地下に埋設しています。守衛室の横にある古びた屋外配電盤は大理石の絶縁基板に大型のナイフスイッチが並んだ立派なものでした。STE研究所ではつい最近までこの配電盤と埋設された回線を使っていたそうです。所々に古びた街路灯がたっています。全て当時のものだそうです。

です。根本を見ると、埋設された電源ケーブルが街灯のポストの中空になったところを伝って上がっています。街路灯のランプの部分は見る影もありませんが、60年以上の年月を感じさせる遺構です。

側溝は深さ1m幅1mの大型で、2段構造となっているそうです。大量の雨が降っても海軍工廠が水浸しにならないための

非常にしつかりした基礎工事です。コンクリートの蓋も、びくともしません。

乾燥室

土塁の南にコンクリートのトンネルがある菜きょう類の乾燥室を見ました。

この建物は天井や屋根をわざと弱く作ってあり、もしも火災などあった場合には火薬が爆発しても爆風が上に抜けるようにして周囲への影響を少なくする工夫がされているとのこと。

以前はSTE研究所が使っていたそうですが、今は天井が崩れ落ちる危険があるとのこと、中に入ることはできません。

防空壕

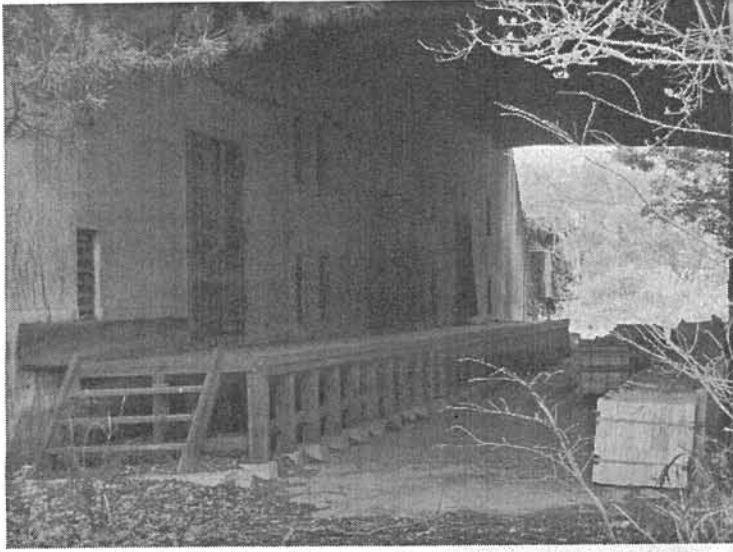
一般的なトンネル式の防空壕とは異なり、1.5m程度の深さの溝の上に板切れを乗せた簡単なものがいくつも並んでいたそうです。今では溝も枯れ葉などで埋もれてしまい、50cmほどの円弧形状の窪みは何箇所もあります。このような簡単な防空壕となつている理由は、すばやく避難できて素早く仕事に戻るための工夫とのこと。こんなところにも非人道的な戦争経済学が顔を出しています。

弾薬貯蔵庫跡

海軍工廠の入り口から最も遠い位置にある弾薬貯蔵庫で、プラットホームにはトラックが付けられるようになっていました。緩やかな傾斜の盛土の中に、大きな部屋が広がっており、戦後も、暗く湿つた環境を利用した貯蔵庫として活用されていたようですが、痛みがひどく、中に



今にも崩れそうな乾燥室



入ることはできませんでした。プラットホームについている鉄の扉には機銃掃射の弾痕と見られる傷がのこっており、爆撃だけではなく護衛の戦闘機が人間狩りをするように動く標的に機銃を浴びせていたようです。気がつくに至る所に弾痕らしき傷跡がありました。等間隔に並んだ直径10cmほどの窪みは機銃掃射の跡のようです。

1トン爆弾のクレータ

火薬貯蔵から少し離れた場所に爆弾によるクレータの跡があります。多くのクレータはゴミ捨て場として使われ、埋め立てられてしまいました。1〜2箇所のクレータが残っています。これは研究所から遠いのでそこまでごみを運ぶことがたいへんだったが故に残ったと聞いて複雑な思いでした。

STE研究所以外の豊川海軍工廠跡地は民間企業などが進出し、綺麗に整備されて、戦争の遺構は一つも残っていません。しかし、大学は整地する費用がなかったため、戦争の遺構がそのまま残ったというのはじつに皮肉な話ですが、貧乏もたまには役に立つというふうでしようか？

黄燐貯蔵用プール

STE研究所建物のすぐ横にあるプールは競泳用のものですが、戦時中は黄燐を貯蔵するのに使っていたとのこと。深い立派なプールはいかにも海軍らし

い・・・と思っていました。最後は戦争のために何もかも利用するということでしょう。

錨印の止水弁

守衛室の後ろに無造作に転がっている古い鉄の塊は海軍の象徴である「錨印」が付いた立派なものです。完全に錆の塊となつて打ち捨てられているのに驚きました。

文化庁の近代遺跡調査でAランク指定と認めたことを考えると、こうした遺品を收拾保存し、敷地内のしかるべき場所に展示すべきだと思います。

意見交換会（豊川市勤労福祉会館第一会議室にて）

見学終了後、会場を豊川勤労福祉会館に移動して、意見交流会をもちました。

見学会の参加された皆さんに簡単に自己紹介をしてもらい、感想を述べ合いました。このなかでは、保存をすすめる会の皆さんから、遺跡保存の運動を支援してほしい旨の要望があり、私たちが今回のツアーで感じたことを平野総長に伝えたいと思

いました。

慰霊碑

豊川勤労福祉会館のすぐ近くにひっそりと慰霊碑が並んでいました。

ここには早稲田大学、立命館大学などの碑もあり、毎年学長が参拝に訪れるとのこと。勤労福祉会館のあたりは爆撃で犠牲になった人たちの遺体は2000体ほど集められて埋められたとのことで、戦後6年もたつてから遺骨を掘り出すような悲惨な状況であったため、学徒動員で犠牲を出した学校や大学がここに慰霊碑を立て、犠牲者を弔うようになったとのこと。

原爆の被害者もそうですが、豊川海軍工廠でも戦争の被害を小さく見せようとする為政者の恣意的な意図によって、死者にも鞭打つことになっている・・・このことを忘れてはならないと思います。

夕暮れの豊川を後にして豊川ICから東名高速道路に入り、名古屋大学に戻ってきたのは7時30分を回っていた。

参加者の感想

戦争遺産を後世に

桜ヶ丘ミュージアムでは豊川海軍工廠のジオラマや、空襲後のパネル、新聞などが展示されており、初めての人にも、海軍工廠のあらましや、被害の様子がよく分かりました。展示のスペース上の関係で難しいとのことでしたが、当時体験された方のお話が展示してあるとさらによいと思いました。

海軍工廠の跡地に実際に足を踏み入れると、桜ヶ丘ミュージアムでは実感できなかったその巨大さがとても印象的でした。また、平然と当時の建物や土塁などが残っていることにとっても驚きました。と同時に、お話を聞いてもより感じたことですが、保存がなかなか進んでいないのにも感じました。実際に見てみることで、初めてその貴重さが分かります。なんとかこの戦争遺産が後世に残っていくことを願いたいのです。

大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

ございました。これまで、瑞浪など、都合が合わず参加できなかったことを、とても残念に感じました。今後は、名古屋市の戦争遺産を見学したり、当時の方のお話を伺うことができればいいなと思います。(山本泰慈)

知られていないのが残念

桜ヶ丘ミュージアムでは資料(展示品)がわかりやすくまとめられてよかったです。もつと書類の展示(あるいは販売)があってもいいのではないかと思いました。

留学生として、かつて台湾(植民地時代)においても、似たような事があつたかもしれないと思うと、跡地は豊川(あるいは名大S T E研究所)が立脚している場所だけではなく、戦争の犠牲になつた人(加害、被害)全員が関わりを持つ場であると思います。しかし、現状ではあまり知られていないのが残念に思います。宣伝費用を集めるためにもN P O組織か、資料などのP R宣伝がもつとあつてもいいと思います。

感想交流会では、保存をすすめる会の伊藤さんや現地実践者の話が聞けたし、名大の参加者と意見交流ができて大変よかったです。今後は、名古屋市内や愛知県内の戦地跡をみたい(体で感じたい)。戦争体験者の方の話も聞いてみたいと思います。(s u y a o)

平和憲章を持つ大学として

年度末の大変に厳しいスケジュールの中、かなり無理して参加しました。しかし、そこまですべて参加する価値が十分にある、非常に有意義な一日でした。

かつて愛知にも、しかも現在名大の一部局が立地している場所にも、戦争によつて尊い人命が数多く奪われた悲しい歴史があつたこと。それだけでなく、その場所ではこの国が戦争で人を殺すための道具が製造されてきたこと。戦争を引き起こしたのも、海軍工廠をつくつたのも国の側なのに、その犠牲となつたのは、立場の弱く罪のない住民、学生・生徒たちで

あつたこと・・・いろいろな思いが、頭の中を駆けめぐりました。

豊川海軍工廠跡地は、この国は戦争の被害者であつただけでなく加害者でもあつたこと、いづれにせよ犠牲となるのは立場の弱い民衆であること、そして戦争と暴力の連鎖を断ち切り世界を創ることの大切さを、わたしたちに語りかけてくれるように思います。

平和憲章をもつ大学として、この跡地を保存し、それだけでなく、大学生・大学院生・若い世代に戦争・暴力のない平和の尊さを語り継ぐ活動(大学教育も含みます)に活かすことができたら、どんなに素敵なお話だろうと思います。いま、時代が不安な方向に動きつつあるだけに、このことはなおさら重要なことのように思えます。

平和憲章をもつ大学の一人として、豊川キャンパス(豊川海軍工廠)跡地をきちんと保存してほしい。そんなことを考えながら帰路につきました。(教員)

会計士・建築士・代議士

こういう「く士」という人たちは、代議士はともかくとして、いずれもそれぞれの職務を全うするだけの能力がおり、それになるためには国家試験がある。それぞれエリートである。この頃そういった人たちの情けない所行が暴き出され、そういう人たち全体の社会的信用を失いかねない有様だ。

建築士については、いわゆる耐震強度偽装が昨年来表沙汰になり、建築界全体を揺るがしている。そういう建築士の偽装を見抜けなかった検査態勢も問題だが、そのように検査する人でも見抜けないような、専門性が高い仕事なのである。そういう人たちが、ごまかしをしてまでも仕事を失うまいとする姿に、「く士」の名前が空々しくうつる。

民主党の代議士が提起したメール問題が国会では大問題だ

が、はじめ、「代議士が間違っただことを言ったからと言っている」旨の発言をしていた、民主党の新しい国会対策委員長になった渡辺さん、国対委員長になったとたん、代議士は待たないから、自分で腹を切らなければならぬなどと言いつつ、この「く士」にはやはりそういうイメージがあるのだ。

そういう侍が、言うとおりに誤魔化しをしなければ、仕事は来なくなるなどと思つて、唯々諾々として大変な誤魔化しをしてしまった。取り返しの付かない過ちだ。未だ実際に事故が起こらなかったからよかったが、その建築士の奥さんが世間の目に耐えられず自殺したというから誠に気の毒なことだった。仕事どころか、自分の妻さえ失う羽目になってしまった。

世間を騒がせているライブド

ア事件、その中の一つの主要な容疑がライブドアの粉飾決算、これには公認会計士が絡んでいる。建築士にしろ、会計士にしろ、自らの仕事をきちんとするなら、雇い主に不利な結果も出ることもあろうが、誇りを持つて仕事をしてほしいものだ。その独立して職務をこなすという

誇りが失われてしまったのだろうか。

もちろん、立派に職務をこなしている多くの侍が一方にはいるが、個人としては、依頼者に対して頑張れないということがもし仮にあるならば、機構としてそういうシステムを作る必要がある。

(T)

「言葉に出して言わなければならぬ」世界

腹芸、阿吽の呼吸、魚心あれば水心、黙つてついてこい、悪いようにはしない、などと言う

と、多少なりとも胡散臭さを伴う。いずれも物事をはつきり言葉にして言わない、暗々裏に互いに了解して事を進めることに通じる。そのためには「腹の探り合い」などと言うことも行われる。

政治の世界、とりわけ世界政治の外交では言葉の端々からそ

こに隠された裏の裏を読むのが常識だ。言葉に表された部分はわずかだ。

ただ、最近の世の中の風潮は、何でも説明責任ということが問われる。アカウンタピリティが求められる。学問・研究・教育の分野においてもこういう事が強く要求されるようになってきている。その必要性は確かにある。きちんと説明できることはいいことである。何がどうなつ

ているかが分かることはいいいことだ。しかし、これを全面的に鵜呑みしていいものかどうか。あらゆる事に当てはめられるか。

この頃の会計処理は、素人が見てもまるで分からない。説明を聞いてもすぐ分かるような代物ではない。それには、専用のソフトがあつて、所要の数値を入力すればできあがるというのだ。これは専門家には分かるのだろうからいい。しかし、確定申告などは、素人がやるのだから、本当は素人にも分からなければいけない。以前は何とか自分で計算できた。と言うことは、その内容は分かっているのである。しかし、最近では、要求された数値を入れるだけ、それでできあがり、何も途中は分からない。分からなくてもいいという。しかし、それでは本当はいけないのではないか。

コンピュータが介在すると途中が分からなくなることが多い。分かる人に分かれればいいのだろうか。本当は、誰にで

も、一定の素養さえあれば分かるなければいけないと思うのだが。ブラックボックスの中で何が起こっているか、不安になる。本題と少しずれた。何でも「言葉に出して言わなければならぬ」とすれば、実は困ったことが沢山起こる。曰く言い難いことはいくらでもある。文化系の学問についても、この頃の一般的風潮として常にその目的だけでなく効果ということまで明らかにすることが求められる。しかし、第一、すぐに効果の出るようなことばかりでない。と言うより、効果などはかることがほとんど不可能なことが多くい。こういうところでも、それを言葉に出して言うことが要求される。

長らく、日本はほとんど単一民族、単一文化だった（アイヌ人・アイヌ文化も厳としてあるけれど）。しかし、世界中の人々の交流、文化交流は今や趨勢である。いろいろの文化が寄り集まつて出来たアメリカのようなところでは、それは自然の

ことであろうが、固有の古い文化を持ったところでは新たな試みである。そこでは、互いが理解し合うために、どうしても言葉に出して言うことが求められる。ここでは、相手の気持ちを付度して理解したつもりでいるととんでもないことも起こりか

改革してむしろよくなった

こういう表現に対して、皆さんどう感じられるだろうか。私はこれ聞いて、この頃の大臣諸公は国語の勉強をもっとしてもらわなければならない。行政改革法案の審議が始まった。

た。政府系金融機関の統合を巡つての論議の答弁の中で、経済産業大臣「改革してむしろよくなつたと言われるようにしなければならぬ」というようなことを言った。細部については、記憶違いがあるかも知れないが、「改革してむしろよくなつ

ねない。それ故、「言葉に出して言う」ことが求められるのであるが、やはり、これをあらゆるところにとりかかるとなかなかに難しいことになる。要するに、そこにどうしても他を思いやる心というものが要求されるのである。

た」という部分は間違いない。よくなるために改革するのであるから、改革してよくなるのは当たり前、「改革してむしろ悪くなつた」というなら言葉として間違いはない。

答弁者は、改革すれば「悪くなる」のが当たり前だと思つていたので、つい出てしまつたのであろうか。

単純な間違いだとは思いますが、それなら、やはりもつと勉強してほしい。あるいは、本音なのだろうか。

(T)

(T)

古津

情報科学研究科 広木詔三

日本生態学会が新潟で開催された。日本生態学会は近年四人以上が集うマンモス学会の一つである。四日間にわたって、九つの講演会場と毎日入れ替わりのポスター講演がある。遣伝子を取り入れた最新の分野や、環境問題に関わる研究発表も多い。

今年、とくに印象に残ったのは、若手の受賞講演で、琵琶湖などの富栄養化の問題に、数理モデルを取り入れたものだった。徐々の変化が積み重なることによって、システムががらりと変わるといふ特性が見いだされたという。数理モデルの分野も最先端の分野だ。わが名古屋大学の環境学研究科に所属する富田君も、東海地方の湧水湿地の地形学的な成因と遷移の関連をポスターで発表していた。

三宅島に関する情報もプライベートに得ることが出来た。三宅島は二千年の爆発以来、亜硫酸ガスを噴出するため、昨年まで島民は島を離れなければならなかった。もちろんその間は民宿もなく、研究者は立ち入れなかった。最新の情報によると、火山灰が堆積し、泥流も生じたという。まだ、調査をするためには特別の許可が下りなければ不可能だという。

ところで、今回の新潟行きにはもう一つの目的があった。小千谷市に住む瀬沼賢一さんが、ハンノキとサクラバハノキが新潟の平野部から丘陵部にかけてすみ分けていることを見いだしたのだった。私は名出版会から出ている『里山の生態学』の中で、ハンノキとサクラバハノキはすみ分けているの

ではないかという仮説論じた。瀬沼さんは、実際に新潟の平野部から丘陵地にかけて、両者がすみ分けていることを実証したのである。ハンノキは平野部から丘陵地に多く分布し、サクラバハノキは奥まった丘陵地に分布するというのである。

一昨年の十月に新潟県で中越地震が生じたとき、小千谷市は被災地の中心に近く、瀬沼さんの身が気がかりであった。今回メールを出したところ、返事がきて無事だということが分かった。携帯の電話も教えていたのだのだが、学会に行くときに記録した用紙を忘れてしまった。顔も分からないので、もう手遅れである。

日曜日の午後、意を決してフィールドに出かけることにした。どんよりとした日で、遠くの山並みはまだ雪に覆われている。新潟の駅から信越本線に乗った。新潟の駅を出発してから、しばらくは窓から住宅しか見えなかった。いくつかの駅を経たあとで、ようやく田んぼが目につくようになった。ハン

ノキラしきものが農家のわきの田んぼのふちに見えたような気がしたが、走っている電車からでははっきりとしない。人間が平野全体を開墾しつくす以前には、湿地に生育するハンノキ林があちこちに広大な面積を占めていたに違いない。

私の乗った電車は新潟という駅で停車した。そこは終点で、私はそこで下りるはめとなった。新潟市は比較的小さな町で、そこからは信越本線がさらに長岡にむかい、もう一つは郡山に向かう磐越西線が交わる地点でもある。冷たい風が吹くなか二十分も待たせようか。ようやく長岡行きの電車が到着した。なんだ、この列車に乗れば、乗り換えなしで、新潟でこんな待たされることもなかったのだ、と思った。しかし、それもあとの祭りである。

長岡行きの電車に乗って、しばらくすると丘陵が見えてきた。目指すはこの丘陵地である。新潟のとなりの駅の名前は古津であった。私と一緒に何人が電車を降りたが、改札口は無

人であった。駅前のごきれいな住宅街を歩いていくと、電車と平行した通りに出た。四つ辻の角には、こうこうと明かりのついたパーマやであった。何人かお客がいた。その反対側の通りには、コンビニエンスストアがあった。少しはずれて、レストランがあった。開店中とあったが、明かりはついておらず中は暗かった。

小さな川沿いに丘陵を指すと、しばらくは住宅地が続き、小学校も目についた。やがて、田んぼも現れた。二万五千分の一の地形図をあてに、ハンノキの生えていそうな方角を目指したが、田んぼばかりで、湿地に出会いそうな気配はない。やや遠くで、五、六人の人たちが集団でやってきて、丘陵の斜面を登って行った。ハイキングをしている感じであった。

諦めかかったときに、湿地が見つかった。

これまで何度か経験したことであったが、初めての土地で調査をすると、目的の樹木がなかなか見つからない。そして

諦めた頃、あるいはあきらめてしばらくしてから探していたものが見つかることがよくある。

湿地の中央には幅十センチほどの水流があり、そのわきにハンノキらしきものが立っていた。湿地といっても靴のまま歩けるほどであるが、遊歩道が板で作られており、流水に沿って、木の杭も並んでいる。つまり手入れが行き届いているのである。湿地の地形は関東の谷津に似ており、奥はすぐ狭まり三角形の立地となっている。道路の他に両側は斜面に囲まれている。

ハンノキとサクラバハンノキは同時に見たことがないので区別が難しいが、とくに葉の無い時期はそうである。私のこれまでの経験と感で、その湿地の樹木はハンノキに違いないと判断した。

一辺が二十から三十メートルほどの狭い区画にすぎない小さな土地であるが、道路を挟んだ田んぼや林の風情は何とも言えない。

湿地に接した斜面を登って

くと、コナラ林の林床にはササが密生していた。手入れがよく行き届いていた。突然アカガシに出会ったのには驚いた。東海地方では標高が高くないと分布していないからである。雪が多くて太平洋側に比べると冬の寒さが厳しくないのである。

さらに坂道を上ると、尾根に出る。見晴らしがよく、今きた斜面とは反対側に、県立の植物園が広がっているのが見渡せる。美術館も接している。どことなくプリューゲルの絵の世界のようだ。これで雪が積もっていたらまさしくプリューゲルの雰囲気である。

最近、ルネ・デュボスの『地球への求愛』という本を読んでいるが、その中で彼は人間化された自然ということ述べている。イギリスや日本の農村を例に挙げて、人間が作り上げた自然の良さを指摘している。

目の前の風景はまさしく人間化された自然そのものである。手入れが行き届いていて、とても感じが良い。あまり都市化していない農村の風景。といって

も過疎化も進んでいない農村。それは現代にあつては一種の桃源郷のように思える。ただ、雑木林はよいが、スギの木立が多いのが難点である。

私は、植物園のある方には降りず、もときた道を下って戻った。後ろから六、七人の年配の男女が足早に私を追い抜いて行った。この人たちもハイキングの出で立ちだった。

日が沈みかけ、冷たい風がいつそう冷たくなってきた。名古屋では終わりがげんのスギの花粉をたっぷり吸ってしまったようだ。寒さに身震いしているとき、とある庭先を見ると、まさにほころびかげんの梅の花が一輪、目にとまった。ああ、新瀉は春が遅いんだ。

駅にちかぶくと、例のレストランは、相変わらず暗いままだった。ふと見ると、道路の向かい側に明るい店が一軒あるのに気づいた。よく見るとパン屋だった。オレンジ色の店内で、若い女性が一人で働いている。お客は一人もいない。まるでおとぎの国の世界であった。

ニユースに二喝!

男女共同参画社会

男女平等、男女同権は当然のことだ。今の世の中、その論議も喧しい。中にはどうかと思うこともある。折しも、今日のNHKのゴールデンアワーの番組、「女の怒り、男の本音」という一般からの50人の参加と、視聴者の意見も反映する番組があった(2006.4.1)。多少の興味を持って聞いていたが、メイキングの二人の女性の強烈なコンプレックスから来る意見に辟易して最後まで見る苦痛に耐えられなかった。男女は、生物学的にも違ふし、何もかも一緒にするとは、元々出来ないという意見もあった。確かに、それぞれの役割が違うことを先ずもって認識することから始めなければならぬ。男女は決して敵同士ではないのである。そ

れぞれが協力するという姿勢がなければ何事もうまくはいかない。けんか腰では仕方がない。そう思っこのゲストのけんか腰に阻まれて、この番組は中途で見のをやめた。

男女同格ということについて、当時の社会の差別を、道元禅師は八〇〇年前にはつきりと批判している。しかし、その違いをきちんと認め、修行の場は別々にした。違いは違いであり、これは差別ではない。そのことを最初にはつきりしておかなければ議論は始まらない。今日のNHKの議論はその基礎が出来ていなかった。

男女共同参画と言っても、そのものが違うことをはつきりしなければならぬことは、案外等閑にされているように思う。

同じに扱わなければならないことは多い。学問の世界などでは区別の必要はあまりない。しかし、スポーツの世界ではどうだろうか。この頃、女性のやらないスポーツはほとんど無い。相撲ですら、新相撲というのは女性もやる。もちろん女性は女性同士である。どのスポーツもほぼ男女別々である。体力の問題となると、一緒にするわけにはいかないことがある。それは仕方がない。

しかし、最近私が疑問に思ったのは、将棋の世界でのことである。こういう勝負事は、もち

は

「はい」という返事は気持ちのいいものだ。俗に、二つ返事というのがある。この「はい」というのを使う。ハとイの二つだからだ。「はいはい」とこれを二回言うのは嫌われる。「ハイ」一つにも、その言い方にはアクセントというか、イントネーションというか、もつと専門的であろうか、それともちよつと違う

ろん体力は必要であつても、腕力が必要なわけではないから、男女別々にする必要はないように思う。現在別々なのは、その歴史のせいなのだろうが、いずれ、その区別はなくすべきだと思う。

スポーツの世界でも、ゴルフなどは、女性が男性の中に混じってやることもあるようである。格闘技以外ではそれが、男女共同参画のあるべき姿であろう。いずれ、格闘技においても、女性が、世の中を制することもあるかもしれない。

(田 2006.4.1記)

い

ように思うが、音の上げ下げ、一つの音の長さ加減で、これが喜んで返事をしているのか、嫌々不承不承なのかその調子に現れる。生の返事を聞かなければ、真意は十分は分からない。ただ、総じて「ハイ」とか「ハイ」という返事は好ましいものだ。

ところが、その普通の「ハイ」に何となく不快な感じを受ける

ことがある。それは、嫌々言っている調子のもではなくてである。

ラジオ放送で、この前ひどく強くそのことを感じたので、記したいと思う。朝の時間だった。全体を進行させるアナウンサーが居る。名前も覚えていろいろがこでは明かさない。いろいろな情報が提供される。交通情報とか、天気予報とかだ。「誰々さんお願いします」「ハイ、それでは……」と。そして、それが「以上です、誰々さんどうぞ」というように終わる。そのとき、彼のアナウンサーはただ一言、「ハイ」。

なぜ「ハイ、ありがとうございます」と言えないのだろう。その日は、6時台から、7時頃まで聞いていたが、全部そういう調子で、ただの一回も、「ありがとうございます」とは言わなかった。ただ、彼も、別の日は必ずしもそうでなかったから、このときは何かあったのかも知れないと後で勘づてしまった。この「ハイ」にひどく違和感と言うより、不快感を感じてしまった。

私の経験で言うと、私はいつも月参りの折、いろいろの印刷物を「ゴミになって申し訳ないが」と謙遜して渡す。大概は、「い

や、ありがとうございます」と言つて受け取つてくれる。ところが、決まった人だけけれども、いつも「ハイ」とだけしか言わない。何も悪気があるわけはなさそうであるが、そのときは一瞬むつとすることがあり、もうやめようと思いきえする。明るくする月も性懲りもなく、同じよ

言葉はきちんと

(1)NHKニュース(2006.3.13 19:00)の中で。アナウンサーの言葉ではない。詳しいことは失念した。気になったことだけを記す。「防げる」ことの出来る事故に……というのだ。こういう重言は割合聞かれるが、やはりみつともない。言いたいことがわつと出てきて、整理できないうちに口をついて出た結果だろう。「防ぐことが出来る」とか「防げる」としてほしいものだ。別の時だが、公明党の幹事長が「まとめられることが出来る……」と言つたのも同じ事だろう。

うに渡す。やつぱり「ハイ」だけ。お礼を言つてもらうつもりでもないのだが、むつとする方がいけないのだが、そういう利害関係が無くても、同じように、不快感を持つことがあることを、あのラジオ放送は教えてくれた。(田 2006.3.9記)

ず」とすべきだ。今日の中日新聞(2006.4.4)一面トップ「小沢氏支持過半数迫る」。これも落ち着かない、やつぱり「に」が足りないと思う。過半数が迫るのではない。過半数に迫るのであるから。「が」はなくてもほとんど支障ない。

(5)朝7時前の天気予報を聞いていて奇妙な感じにおそれた。それから注意して聞いていて、漸くこうではないかと分かってきたが、その日(2006.3.15)はよく分からなかった。「……くもり、朝のうちから晴れるでしょう」と言うのである。その日の予報は、各地同じようだった。その後、その時間の天気予報を聞いていると「……晴れ、昼頃から曇るでしょう」とか「……雨、夕方から晴れるでしょう」と式の言い方がされていった。15日の予報がたまたま「朝から」だったのだから、わりにかつたようだ。簡潔には、表現しにくいのかも知れない。「今までのところは曇っているけれども、朝のうちに晴れるようになるだろう」ということを言いたいのだろうがやはり、この予報の表現はまずいように思う。簡潔がいいと言つても、真意を伝えられなかったら何にも成らない。

(田 2006.4.4記)

名大祭「ミニ平和資料館」に集まれ！

平和憲章委員会は名大祭で「平和憲章」を題材とした企画を実施します。

学生総代生協委員班のユニセフ班が
ユニセフ活動の紹介と
フェアトレードの商品を宣伝します。
戦争の背後にある貧困の問題を
一緒に考えましょう。

開催期間：6月3日（土）～4日（日）

会場：文系共同館 F演習室

ミニ平和資料館の内容

- UNICEF？ フェアトレード？
それって何のこと。
- 豊川海軍工廠見学ツアーの報告
- ミニ平和資料館にお越し下さい。
- フェアトレードのコーヒーを
飲みながら一緒に考えましょう。

平和憲章委員会は学生自治会、名院協、名大職組、
生協理事会、生協労組で構成されています。

名古屋大学平和憲章委員会

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 265 号

クイズのこたえ _____

☆今月号を
読んだ
感想

☆記事にしてほしいこと。生協へのご
意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOP クイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail: kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をみれなく記入してください。

3・4月号
の感想

蛙にあたった!?

★杉山先生へのインタビュー、とくに「蛙」にあたった。すぐ来てくれ」の部分に興味深く読ませていただきました。

【きりん組】

疎遠な文学を紙面で学べた

★杉山先生のインタビューを読んで。自分は理系で文学とは疎遠な生活を送ってきたので、中国文学や日本との関係を紙面で勉強出来、大変有意義でした。

【DC5】

他学部を知る貴重な機会

★違う学部の教授がやっていることを知る機会は貴重なのでこの特集は良かったと思う【光安】

これからも楽しみ

★ニュースに一喝! いいコーナーですね。これからも楽しみにしています。

【おしょう】

クイズが非常に難しかった。

【JJJ】

難易度が超高い

★今回のクイズは、ヒントを見て、勘に頼ってマスをうめていくしかなかった。難易度が高いというレベルを超えていると思った。

【だるまおとし】

いろいろ行ってみたくなかった

★(1)退職される教職員の思いで。

各先生、職員の方の思い出を讀ましていただき、なるほどと思う話が多くありました。

私もあと2年で退職なので、世代が似ており、共感することが多かったのかも知れません。

(2)すんでの事で

話には聞いていましたが、振り込め詐欺とは恐ろしい世の中になりました。このような話はとりあえず周りの多くの人に広めるのが重要であると思います。もし自分だったら騙されていたかも知れません。

(3)スキー教室

今年、私も3年ぶりに卒業

生総勢13名と一緒に車山にスキーにいきました。久しぶりの割には、結構滑る事ができて楽しかったです。箕浦さん、河合さん来年は私も「スキーにっれてって」下さい。

(4)豊川海軍工廠ツアー

第2次大戦中豊川海軍工廠が空襲を受け多数の学徒がなくなっただけは知っていました。

参加出来るのと良かったのですが、生憎当日は他の用事と重なり残念ながら参加出来ません。

だから他の日に個人的に桜が丘ミュージアムに行ってみようかと思つています【元気おじさん】

意見と
通信

就職イベント土日にも

★最近就職イベントをいくつか生協で主催されていたのですが、どれも理系の私は日程が合いません。(午後は毎日実験あので)せっかくの気化器なので参加したいいつも思つてい

ます。できれば土、日や朝早くから開催していただきたいな、と思います。Webはもう少し見やすいと助かります。ありがとうございます。【ペソすけ】

インタビューを毎回続けて

★研究科長インタビューが毎回とても面白いです。今後もぜひ続けてください【だるまおとし】

新入生のための
食堂ガイドなど

【DC5】

大盛りメニューを増やして

★ご飯の大盛りメニューを増やしてください。【おしょう】

新店舗の特集を

★旧理系中華跡地に開店する新店舗の特集をお願いします。

【JJJ】

南部の土曜営業の実現を

★南部生協(購買部、食堂部)の土曜日開店を実現させてください。【きりん組】

【きりん組】

